

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271401947		
法人名	社会福祉法人 静雲会		
事業所名	グループホーム静園(ユニット静園)		
所在地	〒859-2501 長崎県南島原市口之津町乙3475番地1、3476番地		
自己評価作成日	平成 23 年 1 月 12 日	評価結果市町村受理日	平成23年 3 月 15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217 島原商工会議所1階
訪問調査日	平成 23 年 2 月 23 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所の母体がお寺であることもあり、年始やお彼岸等には事業所内においてお参りや御法話を行っている。入居者様の生活にも浸透しており、毎日の仏様へのお仏飯をお供えし、お参りをされることで穏やかな生活を送られている入居者様もおられる。また、保育園児の慰問や地域の空手やボイスカウトの子供達の協力が得やすく、昨年からは、ボランティアでハーモニカ演奏が毎月の行事として定着しつつある。スタッフの入れ替わりはほとんどなく、顔なじみの関係の中で入居者様は、それぞれの個性を生かした俳句作りや、料理作りを行っている。スタッフのほとんどは、3年以上の介護経験者であり、毎月の勉強会や研修等に積極的に参加しながら研鑽を重ね、認知症の知識を深めながら支え合う支援に努めている。また、今年度は実践リーダー研修に管理者が参加し、学び得た知識の中で、チームとしての理念の方向性を話し合い、入居者様の支援に活かしていけるように取り組んでいる

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然に囲まれ、美しい海の景色が望まれる立地のホームで、利用者は明るく落ちついた生活を送られている。管理者は自ら研鑽を積まれると共に、職員の知識と経験のレベルアップをはかられており、それが着実に実を結び、より良い支援に繋がっている。また共有してきた理念をさらに見つめなおし、職員それぞれの深い思いと支えに繋げることを目指されている。ケアカンファレンスには利用者も参加され、より細やかな思いの把握ができるようになってきており、それをケアプランに反映させ、職員は利用者の希望の実現に努めることで「その人らしい暮らし」を支えている。利用者はホームでの生活の中で忘れていた能力を引き出され、草むしりや掃除、調理の下ごしらえや食器洗いと自分の役割を見つけ、ホームの一員として生き生きと過ごされている。ホームでは嗜好品などについても話し合いを行い、職員の配慮の上、楽しむことができている。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の	63	1. ほぼ全ての家族と
		2. 利用者の2/3くらいが		2. 家族の2/3くらいと
		3. 利用者の1/3くらいが		3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんど掴んでいない		4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある	64	1. ほぼ毎日のように
		2. 数日に1回程度ある		2. 数日に1回程度
		3. たまにある		3. たまに
		4. ほとんどない		4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が	65	1. 大いに増えている
		2. 利用者の2/3くらいが		2. 少しずつ増えている
		3. 利用者の1/3くらいが		3. あまり増えていない
		4. ほとんどいない		4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が	66	1. ほぼ全ての職員が
		2. 利用者の2/3くらいが		2. 職員の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない		4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が	67	1. ほぼ全ての利用者が
		2. 利用者の2/3くらいが		2. 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない		4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が	68	1. ほぼ全ての家族等が
		2. 利用者の2/3くらいが		2. 家族等の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない		4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が		
		2. 利用者の2/3くらいが		
		3. 利用者の1/3くらいが		
		4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念が実践に活かされる様に、会議などにおいて理念への共通意識を高めるような話し合いを行い、日々の業務の中に活かしている。また、理念に沿った月目標を定め、ひとり一人が心掛けながら、取り組めるように努めている	それぞれのユニットで「ゆっくり話そう」「ドライブをしよう」など実践的な目標が決められている。フロア会議で達成度を振り返り、次の目標を立てる中で常に理念の共有と利用者へのより良い支援に繋げている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会に入り、園での行事に参加して頂いている。お正月のお餅を配ったり、年賀状のやり取りや、ボランティアの方々に敬老会などに来て頂き、日常的に交流が出来るように努めている	地域の清掃活動に参加したり、中学校の職場体験を受け入れたり、また母体がお寺で地域の方との係わりが深いこともあり、子供たちとの交流も含め、様々な関係が築かれている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方からの問い合わせに介護支援専門員が応えたり、外部の方から相談があった場合は、地域のグループホーム連絡協議会や包括支援センターなどに協力を求め、社会資源を活かした取り組みに努めている		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度より、利用者のご家族を二名に増員し、自治会長と民生委員の方は昨年より馴染みの方に参加していただき、意見が出しやすいように、事前に話し合う内容をお伝えしている。指摘等があれば反省をし、サービスの向上に活かしている	普段から立ち寄ってくださる参加者もおられ、活発な意見交換ができる関係が築かれている。家族アンケートや敬老会についてなど、様々な議題で多くの有益な意見をいただき運営に活かしている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	グループホームの連絡協議会に入り、空き情報等を常に連絡しながら、勉強会等にも積極的に参加し、いつでも協力しあえる様な関係が築けている	市の担当者とは質問や報告などの際、窓口を訪れることで、良好な関係を作っている。地域包括支援センターの方には運営推進会議に参加して良いアドバイスや意見をいただいている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な勉強会を行い、全職員が理解できるように取り組んでいる	年一回は必ず内部研修をおこない、外部研修も機会をとらえて参加し、身体拘束をしないケアの理解と実践に努めている。センサーマットの使用については毎月振り返りをして、徐々に減らしてきた。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な勉強会を行い、日頃からの声かけや態度などにもスタッフひとり一人が心掛けるように努めている。問題が起きたときには、管理者が中心となり、利用者の最善のケアを目指し努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	包括支援センターの方とは個々の必要性について話し合う機会はあったが活用にまでは至っていない。スタッフの中には、言葉は聞いたことがあるが、実際の活動や内容については詳しく分からない者もいるので、勉強会などにおいて制度など学ぶ機会を持ちたい		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約については、施設長・介護主任がご家族に説明を行い、施設の決まり等についても書面において十分に納得して頂けるように努めている		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族アンケートや毎月の手紙において、随時、ホームの行事や利用者の体調の変化等についてはお伝えしている。また、家族アンケートの結果を全体会議などにおいて、スタッフで共有し、改善すべき点については話し合いを重ね、ご家族にお伝えしている	利用者がカンファレンスに参加しており、職員は意見を聞き、思いを察して支援している。利用者の「できることはやりたい」という言葉に難しいと思われた野菜切りも工夫をして対応した。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やフロア会議を毎月行っている。また自己評価を個々に書いて頂き、施設長・管理者のいずれかが個別に意見交換を行い施設の運営に反映させている	管理者やリーダーは職員の意見が出やすいように司会進行をして活発な意見交換の場としている。フロア会議で朝の時間帯に落ちついた支援ができるようシフト変更が提案され試みられた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	外部の研修等についてはスタッフの見やすいところに張り出し、本人が望む研修については優先的に休みや研修費等の負担を事業所が行っている。またスタッフの意見を反映させ、脱衣室の改装など、ハード面でも働きやすい環境に努めている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の全体会議の後、担当を決め勉強会を行っている。また、本人が望む研修については休みの優遇や、研修費の負担等も行っている。年数において必要と思われる研修については、事業者側から声を掛け、個々に参加を促している		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年に一度、他の事業所と合同花見会での交流はあるが、スタッフ同士の交流までには至っていない。代表者や管理者同士は交流する機会があり、ネットワークづくりは出来ているが、スタッフ同士の質の向上に至るまでの取り組みにまでは至っているとは言えない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者には各担当を決め、個々の情報を事前にスタッフ同士で共有し、性格等に配慮した声かけに心掛けています。また、会話の時には、一方的に聴くだけでなく、こちらからも聴いて頂けるような話し方にも配慮しながら、お互いの信頼関係が築けるように努めています		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時より、入居者様とご家族のこれまでの生活状態や、その中で困っていることや要望を何度も話し合い、確認をとるように努めています。ご家族がこれまで行われていた介護を否定することなく受け止め、聴き入れることからはじめるようにしています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時、まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その都度の話し合い、確認のもとサービス内容が適切であるか、ケアプランの確認を事前に行っている。要望の変更があれば、柔軟に対応し、別のサービスが必要であれば、手続き方法や相談先等の説明も行う		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者にカンファレンスに参加して頂き、本人の気持ちを大切に支援をスタッフ同士で心掛け、食事の準備やお掃除だけではなく、市の行事等に作品を入居者様と職員と一緒に出展し、共に喜びを分かち合えるような支援を目指し努めている		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には、入居者様のご様子が毎月、分かるようにお手紙の中に、受診記録や次の受診日等を記載している。また家族が面会に来られたときには、家族同士の時間を大切にして頂けるような配慮に努めている		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者が送りたいと言われる方へ年賀状を作成したり、行き慣れた理髪店やお店にお連れし、馴染みの関係が途切れないように支援している	利用者の生活歴や思い出話などから馴染みの方がわかった時には連絡を取り、また近所の方から以前の暮らしを聞いて近くのスーパーマーケットや馴染みの場所に出かけるなど支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合った入居者同士の席の配置や、話が途切れないようにスタッフが心掛けて会話のサポートを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した後も、事業所の特性を活かした家族との繋がりを大切にケアに努めている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のコミュニケーションから得られた希望を記録へ残し共有する他に、カンファレンスへ利用者本人も参加して頂き、生の声を反映出来るよう工夫している	インタビューシートを利用し「昔のその人を知る」ことで思いの把握が難しい方についても意向に添った支援に努めている。職員は傾聴の姿勢で利用者との会話を思いの把握に繋げている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者本人に、これまでの暮らしを日々の会話から、さりげなく伺い、ご家族やよく知る周囲の方などからも機会があればお聴きしている。新たに、インタビューシートを活用し、職員全員が生活背景を理解できるよう努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りノートや生活の記録等で細かく個々の状態を全員に伝え、チームとして取り組んでいる		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	フロア会議の中において、月に一度はスタッフ同士で振り返り、カンファレンスに本人が参加されることで、より具体的な支援に反映されている。また、ご家族が来られたときには、家族の意見を聴かせて頂き、運営推進会議などに話し合いの場を設け、より良いケアの実践に努めている	利用者もカンファレンスが自分の気持ちを伝える場であると理解してきており、職員が正確に思いを汲み取ることでプランに細かい配慮を加え、希望に沿うことができるようになった。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護支援専門員が記録の研修会に参加し、より実践に活かせるような記録の書き方や、GHで活用できる記載のやり方をスタッフに伝え、書き方のポイント、分かりやすくするための工夫をスタッフ同士で共有し努めている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	「家に外泊したい」「外でお茶がしたい」など日々の関わりで訴えられた思いをそれぞれが実現できるよう、家族の協力や確認をとりながら出来る限り柔軟な対応を心掛けている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の自治会や同法人の子供達との交流を通じて、入居者様おひとりお一人が穏やかに、生きがいを感ぜられるような毎日の支援を心掛けている		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者が、入居される以前から受診されていた病院や眼科などにはお連れし、適切な医療が受けられるような支援に努めている	利用者が近隣の方であることから協力医が以前からのかかりつけ医である場合が多く、定期受診や必要に応じて住診などの医療支援を受けている。協力医の親身な対応に安心感がある。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師一名が常勤であり、緊急時には適切な指示が出せるような体制を整えている。また准看護師を各ユニットに常勤として配置しており、入居者様、個々の状態変化の把握に努めている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護支援専門員(看護師)が中心となり、入院機関(医師、看護師、医療連携室)とコンタクトをとり、ご本人の状況を情報収集し、ご家族の意向を確認している。全職員へそのつど内容が共有出来るよう記録に残し、退院後も適切な生活が送れるよう配慮している		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居段階において、ご家族にはホームにおける重度化・看取りへの指針をお伝えしている。また、入居者様の状態の変化に合わせ、その都度、ご家族と話し合いを行い、医療関係者も含めた話し合いを行っている	5月に看取りがおこなわれた。協力医の二十四時間の支援体制があり、職員は毎日定時に報告をおこない、医療連携がはかられた。利用者や家族には医療行為を含む支援ができないことを説明し了解を得ている。	看取りに際して夜間の勤務には不安を感じる職員もいることから、研修の機会を多く持つと共に、職員の内面での不安への対応、グリーフケアも期待したい。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会等において、緊急時の対応や心肺蘇生の訓練を行っている。担当者を決め、研修で学んできたことをスタッフ同士で共有し、訓練を重ねる中においてより実践的な訓練に努めている		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に二回の消防訓練や、広域が企画する自衛消防研修にスタッフの参加を呼びかけ、防火に関する知識と実践力を身につけるように努めている。また地域の消防団との合同訓練までにはいたってはいない	平成22年にスプリンクラーが設置され、持ち出し用ファイルが作成された。火災については夜間対応のシミュレーションも行われたが、その他の災害対策はまだおこなわれていない。	地震や水害や山崩れなどの災害の可能性、状況判断の方法や避難のタイミングについて関係各所の協力を得て考察し、避難経路や避難方法などの確認と共有、訓練が望まれる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	フロアの中において、利用者おひとりお一人に合った対応について意見を交換しながら対応している。また、解決できないときは全体会議の中で話し合いを行い、ケアの統一を図りながら、チームとして声のかけ方などにも注意している	居室に入る際に「いいですか？」何かおこなう時には「しましょうか？」など利用者の気持ちを尊重した声かけをし、また入浴の際には異性が脱衣場で会わないように配慮している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活において、利用者の喜怒哀楽に共感しながら、本人が望まれる生活に少しでも近づけるような支援に努めている。しかしながら、夜間時は一人体制なので、すべてが本人の希望通りに出来ているとは言い難い		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の人生観・性格について配慮し、スタッフ同士で協力しながら支援に努めているが、本人おひとりお一人の希望に充分添えたケアが出来ているとは言い難い。毎回のフロア会議などにおいて少しでも希望に添えるような支援のあり方について話し合いを重ね努めている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者が着たい洋服を選択して頂いたり、女性の方にはマニキュアを塗り喜んで頂いている。外出の際には、帽子やマフラーなど、本人の趣向に合わせたコーディネートを行い、スタッフが褒めていくことによって、本人のオシャレへの意識も高めてもらっている		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や後かたづけなどを体調に合わせて手伝って頂いている。お誕生会やレクレーションの時には、持たれる方は、使い慣れたエプロンや割烹着などを着用頂き手伝って頂いている	利用者の希望を取りいれて献立を作っている。プランター栽培の収穫物や裏山で採れたつわなどが食卓に上ることもあり、職員が利用者の中に入って楽しく和やかに食事している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食欲低下時は、本人の嗜好に合わせ、食べやすい物の工夫(フルーツやプリン等)行う。嚥下状況によっては、看護師や主治医と相談しながら、トロミや食事形態の工夫も行う。また、水分量も適量が確認を行い、水分補給に努めている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入れ歯の調整など、歯科医師へ相談しながら行っている。また、食前の口腔機能向上運動などを無理ない程度に取り入れ、食後の歯磨きを、利用者個々の状況に応じ、お手伝いや声かけ確認を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来る限りおむつに頼らない排泄ケアの提供を行っている。定期的な声掛けや、排泄パターンを把握するための記録の活用をおこない、本人がどのような気持ちでいるのかをさりげなく聴きだし、その意向を反映していくように努めている	自然排便が困難であった利用者もファイバーを混ぜたゼリーや牛乳などで自然とトイレに行く回数が増えた。職員は様子を記録し適切な支援に繋げており、利用者は昼間、布パンツを使用されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	内服のみに頼らず、自然排便に近づけるよう、水分量の確保や、運動、腹部マッサージ等を行っている。また、食物繊維や飲み物の工夫など、個別に合わせ検討している		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ゆず湯や、菖蒲湯など季節感のあるお風呂を楽しんだり、入浴できない方は足湯や、下半身浴など工夫している。入浴日は決めてはいるが、強制的に入浴を行うことはなく、利用者のタイミングに合わせて、安心して入浴できるような、声かけ誘導を行っている	入浴日を週三回としているが、利用者の希望には柔軟に対応できている。入る順番を考慮する、仲の良い入居者と二人で入る、羞恥心に配慮するなどの心配りで、リラックスできる時間となっている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	不安を与えないよう声かけ話しかけを行い、おひとりお一人の生活習慣に合わせた見守り、トイレ誘導を行っている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	勉強会において、薬の目的や副作用についてスタッフ同士で理解を深め、三重のチェック体制で確認を行い、誤薬に関しては特に注意を払っている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	俳句の好きな方には、市の応募があった俳句会に作品を出展して頂いたり、文化祭などの町の行事に向けて、スタッフと入居者が協力しながら作品を作成している。また、病院の帰りに、買い物やお菓子屋さんなどに立ち寄り、気分転換が出来るような支援を心掛けている		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	全てではないが、スタッフが入居者様おひとりお一人の希望に耳を傾け、ご家族の協力を得ながら外出の機会が増えるように支援している	できるだけ利用者全員が一緒に出かけられるよう配慮して季節に応じた外出をしている。散歩や買い物やお墓参り、親戚の家や利用していたデイサービスに立ち寄るなど個別支援もできている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者の状況に応じて、ご家族と相談をしながらお財布を持って頂いている。入居者の中には通帳を持たれるだけで安心される入居者様もおられるので、スタッフは本人様の気持ちに添いながらお金の管理を行っている		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状を作成したり、電話を掛けたいと申し出があれば、スタッフが協力しながら好きな時間に、何時でも掛けられるような支援に努めている		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	住環境コーディネーターの知識を活かし、業者と話し合い、入居者の安全で安心できる空間を心掛けている。また、スタッフは、毎月の手創りカレンダーや本人の希望に耳を傾け、季節の花を飾ったり、毎日が楽しく過ごして頂けるような環境への配慮に努めている	明るく落ちついた共用空間は利用者と職員と一緒にソファに座って会話をし、コーヒーを飲むなどつろぎの場となっている。書き初めや作品が壁に飾られ利用者に喜ばれている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳のお部屋にソファを置いたり、席の配置や生き物を育てることで、生きがいや居場所の工夫にも心掛けている		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス以外は入居者が以前から使われていた、家具や食器を使って頂き、畳の方が居心地が良いと言われる方にはお部屋に畳を準備するなど、本人やご家族の希望に添えるように努めている	写真やアルバム、仏壇などを思い思いに持ち込み落ち着ける居室とされている。利用者は持ち込んだ品やその配置で自分らしい居室とされ、職員は安全性に配慮している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室から共有スペースまでの導線の確保だけではなく、ベットからトイレまでの細かい部分まで入居者様、おひとりお一人の能力に合わせた配置の工夫をスタッフ同士で話し合っ心掛けています		